第 61 号　市民の会は 20 周年を迎えました☆

広町からの風

HIROMACHI karano KAZE

春分も目前になり、広町の森もいのちの躍動が目に見えるようになってきました。春がどんどんと深まっています。今年は広町が守られて、市民主体の維持管理活動が始まって２０周年。そんな連載も始めていこうと思っております。新年度もどうぞよろしくお願いいたします。

＜広町活動手記＞

広町のいろいろな会で活動する宇都宮くんの現場レポートを不定期でお届けします。

冬の寒い時期、広町の田んぼでは春に向けた田起こしがつづきます。クワを使って大地を引っ張る作業は、寒くなり運動が不足がちな季節には、いいトレーニングと気分転換になります。また畑では落ち葉を拾い、糠と混ぜて堆肥づくり。これも春に向けた準備です。

さらには湿地帯の草刈りをして水路をつくり。これはホタルの生育を促すための夏に向けた準備です。このように各地で来年の準備を行う冬を越えて、２月の始めにはトンボ池のどろかきを行いました。開園から８年がたち、池は多くの土砂が流れ込んで堆積が進み、半分ほどが陸地化してガマが繁殖していました。「開放水面を増やし、トンボの生育を促す」ことを目的に、５つの会の皆さん、一般参加者合同の総勢 25 名でどろかきをしました。結果、目標の沈砂池掘削、ガマ全刈り取り、多数の生き物保護を広町にかかわる皆さんで達成できました。

これからは春の訪れを感じることができる季節。桜の花の鑑賞、そして最近では竹細工といった動きもあります。ぜひみなさん、広町に遊びにきてください。

さすらいの広町ボランティア　宇都宮雅敬（理事）

田起こしは身体にいいぞ！

どろかきではこんなにさっぱりしました！

市民の会では ＜ボランティア募集中＞

豊かな自然の中で身体を動かして楽しむ活動です。ぜひ力を貸してください☆

- ◎ 田んぼ・畑・森・自然観察・散策路の現場の活動
- ◎ 親子で自然と親しむ「かまくら緑の探偵団」のサポート
- ◎ 季節を楽しむ各種イベントのお手伝い
- ◎ 市民の会や広町の自然の情報を発信する SNS 他の広報活動のサポート

その他やってみたいこと等お気軽にご相談ください◎

市民の会への ＜入会のお願い＞

未来の子供たちに引き継ぐ里山づくりに力をお貸しください。

◎個人正会員	3,000 円
◎個人普通会員	1,000 円
◎団体正会員	10,000 円
◎団体普通会員	5,000 円
◎賛助会員	10,000 円

詳しくは
市民の会ホームページを
ぜひご覧ください

◎管理事務所に新たな仲間が入りました！◎

河野さん　畔上さん　深沢さん　粕谷さん

＜広町緑地管理事務所からの風＞

２月付けで新たな仲間が管理事務所に入りました。河野俊彦（こうのとしひこ）さん、深沢由美子（ふかさわゆみこ）さん、畔上美保（あぜがみみほ）さん、粕谷史朗（かすやふみろう）さんの４名です。管理事務所で見かけたらお気軽にお声がけくださいませ。

メール：info@kamakurahiromachi.org （アドレスが新しくなりました！）
電　話：0467-32-5112 （水曜は要件預かりになることがあります）
鎌倉広町の森市民の会ホームページ：
https://kamakurahiromachi.org
Facebook：鎌倉広町緑地　@kamakurahiromachi
Twitter　：鎌倉広町緑地　@hiromachi22

この広報紙は、鎌倉広町の森 市民の会を援助いただいている会員の方々、そして未来の会員の方々に、市民の会の活動の様子を伝えています。鎌倉広町の森市民の会は、(公財) 鎌倉市公園協会と協働し「鎌倉広町パートナーズ共同事業体」として広町緑地の指定管理を担う団体です。

広町緑地が市民の声により守られて 21 年、鎌倉広町の森市民の会の設立により里山復元の鍬がおろされて今年は 20 年になります！

広町緑地は、今から 40 数年前から建設会社による宅地造成計画が進められましたが、この計画に反対する多くの市民の声に、鎌倉市は 2002 年 10 月、神奈川県と市民の協力（市債の引き受け）のもとに 110 億円を超える多額な歳出を行い（後に国の補助もあり）、都市林用地として買収したものです。市民は全面保全の翌年の 2003 年 1 月集会を開き、都市林 * にふさわしい里山の復元を目的に 特定非営利活動法人（本会の前身である鎌倉広町の森市民協議会）の設立を決議し、翌 2 月から長年放置されてきた荒れ地の開墾と園路の整備を始めました。本年 2 月は、それからちょうど 20 年の記念すべき年になります。[＊『都市林』とは、平成５年の都市公園法施行令の改正により新たな都市公園として加えられた、主として動植物の生息地又は生育地である樹林地等の保護を目的とする都市公園を示しています。（都市公園施行令第 2 条より）]

20 年前の開墾前の谷戸の様子

同じ場所の現在の田んぼ

2023 年度を迎えるにあたり

会員の皆様の広町へのご支援に改めてお礼申し上げます。先の 2022 年は日々の活動、収穫祭の復活等と合わせ、新しい会員、役員、事務局長を迎え、今後について改めて考える年でした。結果、本 2023 年 1 月の理事会では、本年の後半に予定されております次期指定管理者募集に対して、単独での応募を目指すことを決定致しました。ここ数年にわたる鎌倉市公園協会様との協働による指定管理の実績、経験、感謝を元に、さらなる都市林の質の向上を目指します。ここで言う「質の向上」とは、「里山」をキーワードに生物多様性に富んだ自然の保護・再生を指すとともに、「里山」に関わる皆様が楽しく活動し、広町が様々な地域活動のハブとなることであり、広町に集まる私たち市民と自然が共に育っていく関係を今まで以上の工夫の中で確かなものにすることです。

言うまでもなく、「里山の自然を守る」ということは保護という名の放置では無く、自然に寄り添う形での介入 (もしかしたら、おせっかいかもしれません）が必要です。現場を前にして唾を飛ばすような議論が行われる場面もありますが、子育てのように試行錯誤を繰り返しながら、時間の積み重ねの中で広町らしい「里山」が育ちつつあると実感しております。

地域の皆様に守られ、大切な宝物となっている広町の未来のためには NPO としての私達の会の質の向上も欠かせません。NPO 以前に一つの組織としての仕事の進め方の改善も必要です。社会的な責任、自然に対する知識についても改めて皆で学び、NPO および指定管理者としての役割と責任を果たしていきたいと思います。緑地管理の専門家集団としての鎌倉市及び緑政審議会をはじめとする行政、鎌倉市公園協会、鎌倉風致保存会、他の NPO や地域の皆様との更なる連携も必要です。改めて皆様お一人おひとりの従来と変わらぬご支援をお願い致します。会員資格の継続、お知り合いのお誘い、あわせて、活動そのものに対しての、ご参加、ご意見、ご批判、ご寄付もお願い致します。春の魔法により、鮮やかな緑の中で、野花が咲き、オタマジャクシが泳ぎ、チョウチョが飛び交い、子供達の元気な声があふれている広町に足をお運びください。様々なご事情で来訪が叶わぬ皆様も広町に思いを馳せて頂ければ幸いです。今年は青空、タンポポ、菜の花がいつにも増して色鮮やかです。

2023 年 3 月 15 日
認定 NPO 法人鎌倉広町の森市民の会　理事長　西田哲治

＜市民ボランティアの５つの会 と かまくら緑の探偵団の活動報告＞

※ どの会も誰でも参加していただけます。見学、お試しも歓迎です。
※ それぞれの会の個性を生かした発信とさせていただいております。

田んぼの会

毎週土曜 9～12 時（第一週のみ日曜日）

11 月から 1 月までの活動を振り返ります。
11 月は今年の集大成として、お米の収穫量がわかる脱穀と唐箕（とうみ）と籾摺り（もみすり）を行いました。稲架（はさ）というところに干して乾燥した稲束からお米が中に入っている籾を取り出すのが脱穀、籾に混ざった藁の破片をちょうどいい強さの風力で飛ばすのが唐箕、籾殻を取って玄米にするのが籾摺りです。いずれも機械を使うのですが、機械でなく手作業でもできる作業です。ものすごい時間がかかりますけど。稲から籾の部分を手でこそぎ落とし、籾殻を爪を使ってブドウの皮を剥くようにすれば玄米が取り出せます。取り出した玄米は口の中に入れてふやかすと一応食べれます。広町を散歩している方々が見学にくるので、脱穀を体験してもらったり玄米を試食してもらうのも楽しみの一つです。12 月は翌年のお米を育てる準備が始まります。田んぼの土を耕す田おこし、堆肥を作るための落ち葉集め、1 月に入ると田んぼの生命線である水路整備をします。お米を育てるのにこんなにもやることがありますし、毎年ちょっとずつやり方を変えたりするので、飽きないです。　田んぼの会　滝沢亮

脱穀作業

広町産の玄米

田んぼへの水路整備

畑の会

毎週日曜 9～12 時

昨年、畑の会は約 20 種の作物を栽培しました。この中で中心作物の一つはサツマイモです。
サツマイモは寒さに弱く、工夫してようやく冬を越した種イモを育苗温床内に並べて発芽させ、芽が 20 ㎝位に生長するとハサミで切り取り、苗として畑の畝に差し込むようにして定植します。昨年は、温床内に野ネズミが侵入して種イモの 70%が被害に会い、外部から苗を購入しました。今年は廃材を再利用して温床を新たに作り、必要な苗約 700 本の 100%自給を目指します。1 月 29 日には児童たちの麦踏みと落ち葉集めをしました。2 月に入ると耕耘（こううん）が始まります。　畑の会 世話人　森田邦彦

新しい育苗温床箱

麦踏み風景

落ち葉集め

森の会

第一・三 日曜 9 時 30 分～12 時

今年もクリスマスリースの準備の為、森の会は 12 月 1 回目の活動としてリースの土台になる輪に適したツル等を採る作業をしました。今年はトンボ池の奥山側で植樹した桜や傾いた木に絡みついたツルを採ることにし、森の会の新人石井さんもロープ投げからツルを引っ張る作業等、初体験でした。12 月 11 日、公募で集まった子供達とリース作りをしました。今年は広場で行う事にし、シートを敷いて机を用意し、輪に巻き付けるヒノキの葉や赤い実が付いたクロガネモチ、飾り付けるモールや赤くなったスズメウリの実も用意しました。2 時間で其々に思いがこもったクリスマスリースが出来上がりました。1 月に入り、森の会恒例の「樵初め（きこりぞめ）」を行いました。場所は小竹ヶ谷のコナラの樹です。豊かな森を作ってくれた樹々に感謝と今年の作業の安全を祈願し、お神酒をコナラにそそぎ、全員で乾杯して樵初めをしました。切り方は基本通りに ①受け口の水平切り ②受け口の斜め切り ③追い口切りと進み、一人ずつ全ての工程を体験します。倒す方向は予め決め、そこに倒れるように切り口を設定します。倒す直前には周りの安全を確認してから倒しますが今年はほぼ予定した方向に伐倒出来ました。通りかかった男の子とお父さんが興味深そうに見学していました。
森の会　詫摩せつ子

クリスマスリースとツル取り

１月の樵初め

自然観察の会

定例作業（自然環境モニタリングと保全作業）
第三日曜 13 時 30 分～ 15 時 30 分
班活動：各班の活動日は管理事務所問い合わせ下さい
植物班・木曜班（緑地の手入れ）チョウ班・カエル班・ホタル班

住宅地の真ん中にある自然、多種多様の動植物の維持のために活動しています。12 月はハンゲショウ谷と呼ばれるハンゲショウ群生地は、近年ハンゲショウの減少傾向にあるため、除草作業をしました。イネ科の植物が多く、一面を覆っていました。１月はカエルのための産卵池の整備を行いました。１月下旬から産卵を始めるカエルもいます。２月はホタルの生息地の整備でした。川にかかる草を除草し、泥で埋まってしまった水路を掘りました。他にも各班に分かれての毎月の活動もあります。ご興味のある方は一度のぞきに来てください。参加自由です。　自然観察の会 ひぐちまこ

ハンゲショウのための草刈り

カエルの産卵のための整備

ホタルのための泥かき

散策路の会

第二日曜　9 時～11 時
第四日曜　13 時 30 分～15 時 30 分
※広町パトロール
毎火曜 9 時 30 分～11 時 30 分（変更の場合あり）

2022 年冬の主な活動を振り返ります。
12 月例会では、樹名板の新設（オニシバリ）、取替（ムクノキ）、室ヶ谷入口先の「洗い坂」を調査しました。「洗い坂」は足場が滑りやすく、整備が望まれている園路です。管理事務所の有識者に相談しながら、当会でも何かできないか考えていきたいと思います。
１月例会では、管理事務所の森屋さんと協同で「石切り場」に向かう階段を補修しました。階段に使われていた土嚢が滑りやすく危険だったため撤去し、土や砂等で埋め、安全を確保しました。途中、トラックの車輪が湿地にハマるアクシデント等もありましたが、何とか乗り越え、無事作業を終えることができて良かったです。また、多くの来園者から感謝のお言葉もいただきました。引き続き、このような活動をして参ります。

軽トラがスタック！！

散策路の会 代表　渡邉敬大（西鎌倉山）

＜Before＞
土嚢が滑りやすい
との声を受けて

《 劇的！ビフォー アフター》

＜After＞丸太と鉄筋で歩きやすい階段に◎

かまくら緑の探偵団（子供向け体験活動支援事業）

２月 緑の少年団交流集会@広町緑地

広町緑地を主なフィールドとし、観察会や田畑での耕作体験などを通じて、子供たちに緑の大切さや楽しさを体感してもらうことを目的に活動しています。
・団　　員：幼児から中学生の約 260 名 （小学生以上は子供だけの参加も可） 団員数は 2022/1/1 現在
・活動概要：月に 1 回程度、参加費無料（場合により材料費等は別）
かまくら緑の探偵団 事務局　小坂泰子

12 月は森の会とクリスマスリース作り

１月は落ち葉かきと麦ふみをしました

２月の神奈川県の交流集会では水族館に行きました

探偵団の活動詳細は、
鎌倉広町の森市民の会ホームページ →
かまくら緑の探偵団のコーナーでどうぞ

先のイベントはこちらで

＜2023 年 4~6 月のイベントの予定＞

イベント詳細は、
鎌倉広町緑地公式ホームページでどうぞ
http://www.kamakurahiromachi.com

４月 22 日（土）
里山さんぽ
「春の植物観察会」
自然観察の会 植物班 主催
13 時 30 分～15 時 30 分位

子供向け企画
４月 23 日（日）
「広町ハイキング」
市民の会 主催
9 時 15 分～11 時 15 分位

５月 14 日（日）
「春の広町で
野草料理を楽しむ会」
春の野草を楽しむ会 主催
10 時～12 時位
定員 10 名・参加費 1000 円
要予約

５月 27 日（土）
（予定：ご確認ください）
「豆腐作り教室」
畑の会 主催
10 時～12 時位
定員 10 名・参加費 500 円
要予約

2023 年　4 月　5 月　6 月

＜申込・問合せ＞
どなたでも参加出来ます。
申込み・問合せは 管理事務所窓口 か 以下の宛先までお気軽にどうぞ。
電話　 0467-32-5112
メール info@kamakurahiromachi.org

＜お願い＞
マスク着用、咳エチケット、手指消毒など感染防止にご協力ください。

４月 29 日（土）
里山さんぽ
「大桐・藤の観賞会」
市民の会 主催
10 時～12 時位

５月 20 日（土）
「植樹祭」
森の会 主催
9 時 15 分
～11 時 15 分位

６月 10 日（土）
「田植え祭」
田んぼの会 主催
9 時～11 時位